

障がい者アスリート競技力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体		①しあわせ福井スポーツ協会、②障がい者トップアスリート			事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	①委託、②補助											
補助率	②10/10 (上限あり)											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]					関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画、福井県障がい者福祉計画]				
[解決すべき問題・課題] 「福井しあわせ元気大会」をピークに県強化指定選手は減少しており、若年層を中心に新たな選手獲得や育成・強化が急務となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 県強化指定選手数 H30 : 321人 R1 : 274人 R2 : 268人 R3 : 275人 R4 : 273人 R5 : 285人						
[事業目的] 「福井しあわせ元気大会」で培われた選手育成・強化体制の取組定着や、障がい者スポーツ振興による競技人口の拡大、新たな県強化指定選手の育成により、県内障がい者スポーツの競技力向上を図る。また、パラリンピック等の主要国際大会への出場を目指す本県在住の障がい者トップアスリートを多方面から支援を行う。これらの選手の活躍は同様の障がいを持つ方々にとっての大きな希望であり、このことにより障がい者スポーツの気運を高め、認知度向上を図る。												
[事業内容] ①障スポ強化対策事業 （1）強化指定選手の認定 福井県障がい者スポーツ大会の成績等により、有望選手やチームを強化指定 （2）強化対策 強化指定選手を対象に強化練習会、県外指導者による特別練習会、健常者チームとの練習試合・合同練習会、県外遠征等 ②障スポアスリート記録会の開催 強化練習会などの成果を発揮する場として記録会を開催し、さらなる競技への意欲や競技力の向上を図る ③障がい者トップアスリート応援事業 （1）全日本強化指定選手への支援（支援枠） （2）福井県強化指定選手への支援（育成枠） ④国際大会等出場選手への激励金交付事業 （公財）日本スポーツ協会および（公財）日本スポーツ協会に加盟（準加盟を含む）する中央競技団体が母体となって派遣する日本代表として 国際試合等に参加する本県関係の選手、選手団役員および団体を対象として、激励金を交付する。 ⑤障がい者スポーツ大会開催費補助金 全国大会、ブロック大会を開催することにより、本県の障がい者スポーツの競技力向上と普及を図る。												
[受益者] 障がい者（健康上の理由でスポーツに関わることが困難な者を除く）						[想定される受益者数] 身体障がい者 34,872人、知的障がい者 7,215人、精神障がい者 8,151人 合計 50,238人 (R5.3現在)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 障がい者スポーツ振興事業 (役割分担) 障がい者アスリート競技力向上事業において選手強化を行い、障がい者スポーツ振興事業において全国障害者スポーツ大会等に選手を派遣				
市町との連携状況						他県の状況		33都道府県でトップアスリートを支援する制度あり (29年度 埼玉県全国調査)				

障がい者アスリート競技力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香			
事業主体		①しあわせ福井スポーツ協会、②障がい者トップアスリート			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	①委託、②補助													
補助率	②10/10 (上限あり)													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	18,761	4,985			13,776	地域生活支援事業費等補助金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		20,514	20,867	20,105	21,792	18,761	障スポ強化対策事業 一部団体競技への支援減 障がい者トップアスリート応援事業 育成枠の増							
2月現計予算額の推移		20,514	15,283	17,478	20,116									
決算額の推移		14,061	13,095	14,678										
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・28年度より障がい者トップアスリート応援事業開始 ・支援対象者の増減（支援枠の減、育成枠の増） 												
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	国際大会出場数	(目標)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(20)	当事業を活用して出場した国際大会数					
		実績	0	0	1	3								
活動指標	トップアスリート応援 事業支援対象者	(目標)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(20)	当事業の支援対象者数					
		実績	14	14	13	12								
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・事業による要因 国際大会出場するには、日本パラリンピック委員会加盟競技団体の強化指定を受けないといけないが、令和5年度は上位大会で成績を残せず、国際大会出場者数が3名となった。 ・外的要因 本県の障がい者トップアスリート人口の減少 (H30 : 321名⇒R5 : 285名) 				<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者トップアスリート応援事業 障スポアスリート記録会や競技団体主催練習会をとおして、更なる競技への意欲や競技力の向上を図る。 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	3,031			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

障がい者スポーツ裾野拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香		
事業主体	しあわせ福井スポーツ協会					事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託												
補助率	—												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]					関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画、福井県障がい者福祉計画]					
[解決すべき問題・課題] 障がい者のスポーツ実施率向上を図るため、スポーツをより身近に感じ、気軽に体験・継続できる環境の整備が必要。						[問題・課題を表す客観的データ] 障がい者スポーツ体験教室参加延人数 H30 : 2,640人 R1 : 2,953人 R2 : 3,281人 R3 : 3,647人 R4 : 3,173人							
[事業目的] 障がいの有無や性別、年齢に関わらず共にスポーツを楽しむことを通して、互いの理解を深め、障がい者の社会参加の促進や共生社会の実現を目指す。そのため、身近な環境で誰もがスポーツを楽しめる環境を整備し、スポーツ振興を通じた地域づくりを進める。													
[事業内容] I. スポーツ「融合の輪」拡大事業 ①「福井しあわせパラスポーツデー」開催 … 福井しあわせ元気国体・大会のレガシーとして、障がいの有無、世代を超えた交流・融合を推進し、誰もが楽しむことに重点を置いたイベントの開催 ②障がい者スポーツ出前講座の開催 … 障がい者スポーツの理解・啓発を進めるため、県内の障がい者トップアスリート等が小学校や中学校等に出向き、障がい者スポーツの出前講座を開催 ③障がい者スポーツ指導員の養成 … 地域において障がい者スポーツを理解し指導ができる人材を育成するため講習会等を開催 ④障がい者スポーツ情報発信 … 障がい者スポーツに関する行事案内や活動情報を発信 II. 障がい者スポーツ「はじめの一步」支援事業 ①障がい者スポーツ体験教室開催 … 障がい者福祉団体等が行う体験教室を支援													
[受益者] 障がい者(健康上の理由でスポーツに関わることが困難な者を除く)						[想定される受益者数] 身体障がい者 34,872人、知的障がい者 7,215人、精神障がい者 8,151人 合計 50,238人 (R5.3現在)							
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 障がい者アスリート競技力向上事業 (役割分担) 障がい者がスポーツに触れる機会を確保しスポーツ実施率の向上を図る中で、競技スポーツを目指す選手が輩出される。こうした選手を障がい者アスリート競技力向上事業において育成・強化を図る。					
市町との連携状況						他県の状況		・石川県 障がい者の1日スポーツ体験教室の開催 ・富山県 パラスポーツ体験会の開催					

障がい者スポーツ裾野拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	しあわせ福井スポーツ協会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源							
予算額	5,424	2,712			2,712 地域生活支援事業費等補助金							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	7,402	6,541	6,290	5,307	5,424	・初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 嶺南での開催により会場使用料増						
2月現計予算額の推移	7,402	5,122	6,290	5,307								
決算額の推移	4,155	4,795	5,628									
前年度までの 主な増減理由	総合型地域スポーツクラブ支援事業の廃止 (県内各クラブへの普及が完了したため)											
[成果指標等の推移]												
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	障がい者スポーツ出前講座 参加者数 (目標) 実績	(2,800) 2,455	(2,800) 3,525	(2,800) 2,485	(2,800)	(2,800)	(2,800)	障がいのある人となない人がともにスポーツに親しむ機会の創出に向けた 主要政策KPI				
活動指標	県内各地域での障がい者ス ポーツ事業 (目標) 実績	(6) 6	(6) 6	(6) 6	(6) 8	(6)	(6)					
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・事業による要因 児童・生徒数の少ない小規模な学校、クラスからの依頼の際に、他の 学校や学年等と連携して、参加者数を増やすことを条件にするなどの工 夫が足りなかった。 ・外的要因 障がい者スポーツ出前講座の対象である小中学校における児童・生徒 数の減				・障がい者スポーツ出前講座開催事業・体験教室開催事業 引き続き小中学校やスポーツクラブ等に対して、障がい者ス ポーツに親しむ機会を提供することで、普及振興に努め る。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

障がい者eスポーツ普及促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	しあわせ福井スポーツ協会				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]				関連する県の計画等		[福井県障がい者福祉計画]					
[解決すべき問題・課題] 障がいの種類・程度によっては運動・スポーツを通じた社会参加が難しい者もいる。また、健常者との交流において障がいの有無がネックとなる場合もある。						[問題・課題を表す客観的データ] 障がい者を対象としたeスポーツ体験会・イベント・大会 県内開催実績なし						
[事業目的] 年齢や性別、障がいの垣根が低く、誰もが楽しむことができるeスポーツに焦点をあて、障がい者がeスポーツを通じて活躍する場の提供や健常者との交流を深める機会を創出し、共生社会の実現を目指す。												
[事業内容] ①障がい者施設におけるeスポーツ環境の整備を支援 (対象) 障がい者関係施設 5施設(県内5地区×1モデル施設) (内容) ・eスポーツ設備の導入に必要な初期経費を支援 ・補助対象施設においてeスポーツによる障がい者への効果やメリットなどを検証												
[受益者] 県内障がい者						[想定される受益者数] 身体障がい者 34,872人、知的障がい者 7,215人、精神障がい者 8,151人 合計 50,238人 (R5.3現在)						
前事業の有無・実績		■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 eスポーツをフックとした交流促進事業 (役割分担) 当該事業は、障がい者がeスポーツを通じて活躍する場の提供や健常者との交流を深める機会を創出し、共生社会の実現を目指すことを主な目的としておりは、eスポーツをフックとした交流促進事業はスポーツを通じた交流人口の拡大を図るものである。				
市町との連携状況		各市町の障がい者スポーツ、eスポーツ事業の担当者に、県主催のイベントに参加してもらい、eスポーツの魅力や可能性について周知				他県の状況		・愛媛県：障がい者を対象に機器貸出し、eスポーツイベント等を開催				

障がい者eスポーツ普及促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	しあわせ福井スポーツ協会				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	750	375			375	地域生活支援事業費等補助金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				1,696	1,641	750	eスポーツ講習会・交流会の削減					
2月現計予算額の推移				1,696	1,641							
決算額の推移				1,609								
前年度までの 主な増減理由	体験会を削減し交流会を新設したことによる減											
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県主催以外の障がい者が参加可能なeスポーツイベント数 (目標) 実績			(1) 2	(1) 1	(1)	(1)	(4)	モデル施設等が自主・自立的にeスポーツに関する体験会や大会を開催し、障がい者同士・障がい者と健常者など様々な交流の機会を創出することで共生社会のきっかけとする			
活動指標	新規モデル施設数 (目標) 実績			(5) 5	(5) 8	(5)	(5)	(10)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・「チャレンジ！障がい者eスポーツセッション」の開催（35名参加） ・障がい者施設におけるeスポーツ環境の整備を支援（8施設）				・引き続き障がい者施設に対してeスポーツ環境の整備を支援することで、障がい者と健常者との交流の場を設ける。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	891	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

県民スポーツ祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香		
事業主体	県民スポーツ祭実行委員会					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助								<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
補助率	定額								<input type="checkbox"/> その他				
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	〔 3 楽しみを広げる(創造力) 〕					関連する県の計画等		〔 福井県スポーツ推進計画 〕				
	政策	〔 12 文化・スポーツがふくい活の活力 〕											
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
シニア世代(60歳以上)の参加増						シニア世代(60歳以上)参加割合 約37% (R5.8現在) ・市町対抗の部 約17% 371人 ・交流の部 約62% 989人 合計1,360人							
[事業目的] 県民が気軽に参加でき、年間を通じて幅広いスポーツ分野で活動成果を試す場を提供することにより、スポーツを「見る、する、支える」人口の増加につなげ、生涯にわたって元気でいきいきとしたスポーツライフの実現を目指す。													
[事業内容] ○県民スポーツ祭の開催 県民が気軽に参加できるスポーツ活動の場、年間を通じてできるスポーツ体験の場を提供 ・総合開会式 ・市町対抗の部：市町代表選手による競技 ・高校の部：高校生による競技 ・中学校の部：中学生による競技 ・小学生の部：小学生による競技 ・交流の部：一般参加者による競技 ・障がい者の部：障がい者による競技 ・みんなでスポーツフェスタ ：親子で参加できる競技や障がい者スポーツ競技の体験会													
[受益者] 市町地域住民、県民スポーツ祭参加者						[想定される受益者数] 約40,000人							
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県民体育大会、県スポーツ・レクリエーション大会 (実績) H16年まで、「県民体育大会」と「県スポーツ・レクリエーション大会」を開催。H17年度に2大会を統合し、「県民スポーツ祭」として県内最大のスポーツイベントとして開催				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況		・市町対抗の部では、市町スポーツ協会で参加選手をとりまとめて申込				他県の状況		石川県：石川県民体育大会 富山県：富山県民体育大会					

県民スポーツ祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香					
事業主体	県民スポーツ祭実行委員会				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業開始年度	H17 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	定額															
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	13,500						13,500									
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移			13,500	13,500	13,500	13,500	13,500									
2月現計予算額の推移			13,500	13,500	13,500	13,500										
決算額の推移			9,864	11,558	13,500											
前年度までの 主な増減理由		新型コロナウイルス感染症の蔓延により、総合開会式の規模縮小や各競技団体の判断で競技会を中止したものがあったため														
[成果指標等の推移]																
区 分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	参加者数	(目標)	(46,000)	(46,000)	(46,000)	(46,000)	(46,000)	(46,000)	(46,000)							
		実績	12,961	23,700	29,764	37,345										
活動指標	シニア世代参加者数	(目標)		(2,600)	(2,600)	(2,600)	(2,600)	(2,600)	(2,600)							
		実績		2,487	3,106	3,475										
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業による要因 募集期間等の周知・徹底が不十分であるとの指摘があった ・ 外的要因 夏期を中心会期としているため、酷暑による参加者数減 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度に続き、総合開会式および実施競技を新型コロナウイルス感染症拡大前の規模に戻して実施するとともに募集期間を長くするなど大会の周知・徹底を図る。 (実施種目数：R2 85種目、R3 126種目、R4 156種目、R5 171種目) 				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								■ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

1 県民 1 スポーツ普及事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県、競技団体等				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H25 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	実行予算、補助											
補助率	定額											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] ・スポーツ実施率の向上を図るため、スポーツをより身近に感じ、気軽に体験・継続できる環境の整備が必要。 ・スポーツ環境の改善を図るため、指導者・選手が正しい知識を習得することが必要。						[問題・課題を表す客観的データ] 成人のスポーツ実施率(週に1回以上スポーツを実施) R4: 福井県 54.8% 全国 52.3% R3: 福井県 66.5%[参考値] 全国 56.4%						
[事業目的] スポーツを通じた健康づくり、生きがいつくりにつなげるため、子どもから高齢者まで、それぞれの体力や生活時間にあった運動習慣の定着を促進する。												
[事業内容] ○1 県民1スポーツ普及の推進 ・ゆるスポ・ニュースポ推進・・・ニュースポーツやレクリエーションスポーツの大会、体験会、出前教室等の開催を促進するため、開催経費を助成 (実施主体) 県レクリエーション協会加盟団体、県スポーツ協会準加盟・準々加盟団体等 ・働き盛り世代・子育て世代・高齢者・障がい者のスポーツ参加の促進・・・気軽にできる運動の講習会や体験会を企業の研修会や団体の会合等に出向いて指導 ・地域クラブ指導者養成・・・ニュースポーツの地域クラブ指導者やこれから競技を始めたい初心者を対象とした研修会を開催し、指導者の資質向上と競技の普及・発展を図る ・メディカルコンディショニング講習会開催・・・専門知識を身につけ、指導者バンクに登録される指導者の資質向上を図る ・スポーツ指導者派遣事業(指導者バンク活用推進)・・・地域のスポーツ推進委員や職域の健康担当部署が、スポーツ習慣の定着化を図るために実施する講習会にスポーツ指導者を派遣する仕組みを構築(3年計画)。スポーツ環境の一層の充実を図るため、競技団体などのニーズに応じた指導者も派遣し、地域スポーツ活動の現場が活性するよう県内全域に広く派遣 ・広域スポーツセンターホームページ運営事業・・・指導者バンクによる指導者派遣の仕組みを再構築したホームページの運営												
[受益者] 市町地域住民、スポーツクラブ関係者、総合型地域スポーツクラブ会員等						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 総合型地域スポーツクラブ支援事業 (役割分担) 生涯スポーツ振興における「活動の場の充実」を図る上でクラブ・団体の育成が重要であり、総合型地域スポーツクラブに対する多様な支援については総合型地域スポーツクラブ支援事業で実施				
市町との連携状況						他県の状況		石川県: いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会				

1 県民 1 スポーツ普及事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県、競技団体等				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H25 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	実行予算、補助											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,415				5,415							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	1,367	1,367	1,534	7,858	5,415	広域スポーツセンターホームページリニューアル事業の減						
2月現計予算額の推移	1,367	1,367	1,534	7,858								
決算額の推移	970	1,218	1,185									
前年度までの 主な増減理由	令和4年度にゆるスポ・ニュースポ推進を統合 令和5年度6月補正にて、広域スポーツセンターホームページリニューアル事業を新規拡充											
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	スポーツ実施率 (%) (目標) (58) 実績 56.0	(65) 66.5	(65) 54.8	(65) 61.0	(65)	(65)	(65)	福井県スポーツ推進計画 R6目標 スポーツ実施率65%				
活動指標	ゆるスポニュースポ補助対象イベント (目標) (7) 実績 7			(7)	(7)	(7)	(7)	ゆるスポ・ニュースポーツの普及拡大を目的とした大会・体験会等の開催数				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・事業による要因 講習会や体験会、研修会の開催周知や参加者募集案内が十分に行き届かない面があった。 ・外的要因 子育て世代・働き盛り世代のスポーツ実施率が低い。				運動習慣の推進のため、指導者バンクの活用を推進する仕組みを構築（3年計画）する。スポーツ環境の一層の充実を図るため、競技団体などのニーズに応じた指導者も派遣し、地域スポーツ活動現場の活性化を図る。指導者バンクによる指導者派遣の仕組みを再構築したホームページの運営				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,443	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

総合型地域スポーツクラブ支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香		
事業主体	公益財団法人福井県スポーツ協会				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度	
事業実施方法	補助									経過年数			2 年
補助率	定額									2 年			
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]						
[解決すべき問題・課題] 地域住民が気軽に参加できるスポーツ活動の拠点として、総合型地域スポーツクラブの機能を強化し、スポーツ実施率の向上を図る。						[問題・課題を表す客観的データ] 総合型クラブ会員数 R1 : 6,635人 R2 : 6,009人 R3 : 6,246人 R4 : 6,274人 成人スポーツ実施率 R1 : 54.8% (全国 : 53.6) R2 : 56.0% (59.9) R3 : -% (56.4) R4 : 54.8% (52.3)							
[事業目的] 県内で活動する総合型地域スポーツクラブの定着・発展を促進するため、その円滑な運営に資する情報交換や交流の活性化を図り、クラブの設立や運営の支援を行う「福井県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」が、令和4年度から、(公財)福井県スポーツ協会に創設されたことに伴い、総合型地域スポーツクラブを多方面から支援する。													
[事業内容] ①強化支援・・・先進クラブの代表者による事業展開や運営面での研修会、行政と連携した事業運営などを学ぶ研修会の開催 ②登録認証支援・・・総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度の運用に伴う登録審査会の開催 ③機能強化支援・・・地域における認知度向上につながるスポーツ体験イベントを開催する総合型地域スポーツクラブに対する補助 (内 容) 商業施設やスポーツ施設等での体験イベントの開催経費補助 補助率：定額 上限額：100千円 選定数：15クラブ (対象者) 福井県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会加盟クラブ(ブロック単位の補助) ④クラブアドバイザー配置支援・・・総合型地域スポーツクラブへの巡回指導等を行うクラブアドバイザーを配置													
[受益者]						[想定される受益者数]							
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 広域スポーツセンター事業 (役割分担) 生涯スポーツ振興のため、総合型地域スポーツクラブに関する諸事業は本事業で実施し、その他については、広域スポーツセンター事業が担当して互いに連携・協力						
市町との連携状況	各市町行政担当者とクラブ関係者を対象とした研修会を開催し、市町連携の事業展開について検討を行い、17市町との連携を推進					他県の状況	石川県、富山県、新潟県、岐阜県などに総合型地域スポーツクラブへの支援事業がある						

総合型地域スポーツクラブ支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	公益財団法人福井県スポーツ協会				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	R4 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	補助							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		R4 年度 経過年数		
補助率	定額							<input type="checkbox"/> その他		2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,864				2,864							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			4,987	3,170	2,864	総合型地域スポーツクラブ登録審査会（実地審査）の回数減、機能強化支援における補助対象者数の減						
2月現計予算額の推移			3,277	2,120								
決算額の推移			2,094									
前年度までの主な増減理由	総合型地域スポーツクラブ登録審査会（実地審査）の回数減、機能強化支援における補助対象者数の減											
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	総合型地域スポーツクラブ 会員数		(6,500)	(6,500)	(7,500)	(7,500)	(7,500)	福井県スポーツ推進計画 R6目標 会員数7,500人				
	実績		6,274	6,777								
活動指標	登録認証数		(10)	(10)	(15)	(15)	(20)	総合型地域スポーツクラブ登録認証制度 令和4年度開始				
	実績		25	24								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合型地域スポーツクラブ会員数 R2：6,009人、R3：6,246人 R4：6,274人 R5：6,777人 ・ 成人のスポーツ実施率 R2：56.0% R3：-% R4：54.8% R5：61.0% 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内総合型地域スポーツクラブの認知度向上および新規会員獲得のため、クラブ単位でスポーツ体験イベント等を実施し総合型地域スポーツクラブの機能強化を図る 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額 306	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

スポーツ・文化交流フェスタ等開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等	[福井県スポーツ推進計画]						
[解決すべき問題・課題] ・体験イベントの在り方や効果的な広報の方法を検討し、イベントの集客を拡大する。 ・キャラクターの露出方法(出勤、動画作成など)の検討と、更なるファン 拡大を図るための新しい取り組みが必要。						[問題・課題を表す客観的データ] ・フェスタ来場者数 (R2: 2,790人、R3: 5,100人、R4: 13,808人、R5: 15,063人) ・はぴねすキャラバン出勤数 (R2: 203回、R3: 192回、R4: 218回、R5: 256回)						
[事業目的] 県民のスポーツ・文化活動の活性化や、県民相互の交流を促すため、継続してスポーツ・文化の複合型イベント「スポーツ・文化交流イベント」を開催する。また、福井県のキャラクターとして活躍している「はぴりゅう」については、その認知度・知名度を活かし、県事業PRなどで効果的に活用していく。												
[事業内容] (1) 県民スポーツ・文化交流イベントの開催 ・ステージプログラム・・・エンタメステージ、県内ゆかりの団体によるステージ発表等 ・体験、PR・・・スポーツ、アート、アミューズメント、eスポーツ、障がい者スポーツの体験教室等、県事業のPRブース等 (2) 「はぴねすキャラバン」の運用 ・県民交流サポーター「はぴりゅう」の継続的な活用による県民応援活動												
[受益者] 市町地域住民、イベント参加者						[想定される受益者数] 約10,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 スポーツ&アートフェスタ、広報キャラバン (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町観光関係機関との連携により、市町観光PR・特産品・ご当地グルメ等PRを行う。今後も、北陸新幹線開業に向けた県内市町のおもてなし強化の観点から、継続して連携を図っていく。					他県の状況						

スポーツ・文化交流フェスタ等開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H25 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度	
事業実施方法	委託												
補助率	—												
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	17,569			4,000	諸収入 100	13,469	諸収入（ネーミングライツ）						
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			21,602	20,548	19,260	18,244	17,569	歳入確保を目的としたネーミングライツの導入					
2月現計予算額の推移			20,123	20,548	19,260	18,244							
決算額の推移			19,696	20,448	19,156								
前年度までの 主な増減理由		はびねすキャラバン隊出動回数の見直しに伴う減											
[成果指標等の推移]													
区分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	来場者数	(目標)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	イベント（はぴりゅうフェスタ）の来場者数			
		実績	2,790	5,100	13,808	15,063							
活動指標	広報活動数	(目標)	(240)	(240)	(240)	(240)	(240)	(240)	(240)	マスコット「はぴりゅう」等の運用(月20回程度運用を予定)			
		実績	203	192	218	256							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・事業実績 スポーツ・文化交流イベント（スポカルFUKUI2023） 令和5年12月9日（土）、10日（日）実施 参加者数：15,063人 はびねすキャラバン出動回数256回					事業経費を見直し継続				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

久々子湖漕艇場コース整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	実行予算											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等	[福井県スポーツ推進計画]						
[解決すべき問題・課題] ・現状のB級1,500m公認コースでは、2,000mで開催される全日本級・国際級大会や競技団体の合宿の誘致が不可。 ・風が吹くとスタート地点に波が立ち、ボート競技運営に支障が生じている。コーススタート地点に波を吸収する消波対策を講じる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 全日本大会等の誘致が可能なA級2,000m公認コースではないため、大会誘致が不十分な状況 A級2,000m公認コース：全国5ヶ所（R6.1月時点）						
[事業目的] ・現在、B級1,500m公認コースとして認定を受けている久々子湖漕艇場を、全日本大会等の誘致が可能なA級2,000m公認コースとして再整備することにより、ボート競技の振興や競技力向上、交流・関係人口の増加を図る。 ・コーススタート地点に波消し対策を実施し、円滑な競技運営を図る。												
[事業内容] ①久々子湖漕艇場ボートコース2,000m延伸事業 《令和5～6年度》 ○測量調査設計 ・土質ボーリング調査や測量を行い、延伸工事の設計を実施 ※R5.6月補正：10,174千円、R6当初：23,739千円 《令和6～7年度》 ○コース延伸化工事 ・既存1,500mコースを沖側（西）へ平行移動 ・コースワイヤーの全面張り替え ・ゴール地点に見通し板やランドマークタワー、決勝審判席のステージを設置 ※R6当初：45,815千円、R7当初（予定）：68,722千円 ②久々子湖漕艇場コーススタート地点消波対策事業 《令和6年度》 ○測量調査設計 ・波風の状況や土質状況等の調査、測量設計を行う。 ※R6当初：17,413千円 《令和7年度》 ○コーススタート地点消波対策工事 ・測量調査設計を実施し、効果を検証したうえで最適な工法で工事を実施。 例）なぎさ護岸のようなものを設置等 ※R7当初（予定）：31,347千円（仮）												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	2,000mに延伸するうえで障害となる釣船センターの棧橋の撤去や大会を開催するうえで必要となる備品等については、美浜町が負担。					他県の状況						

久々子湖漕艇場コース整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	実行予算											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	86,967		4,000	繰入金 56,152	26,815	地域活性化基金 一般単独事業債、行政改革推進債						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					10,174	86,967	工事請負費の計上による増					
2月現計予算額の推移					10,174							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								定量的に検証できるものがなく設定が困難			
活動指標	(目標) 実績								定量的に検証できるものがなく設定が困難			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
5年度は、久々子湖漕艇場ボートコース2,000m延伸事業の測量調査設計を実施				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井運動公園「稼げるスポーツ施設」魅力アップ事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [5 とともに進める(総合力)] 政策 [17 「チーム福井」の行政運営]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画、行財財政改革アクションプラン]					
[解決すべき問題・課題] 福井運動公園内スポーツ施設において、広告掲出およびネーミングライツ導入による歳入確保を積極的に図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 県有施設を利用した広告掲出およびネーミングライツの導入は、県としては前例がない。						
[事業目的] 県営スポーツ施設の壁面に企業広告の看板を設置し、広告収入を得ることにより、スポーツ施設の運営や大会の誘致、開催支援などのスポーツ振興に寄与する事業の財源とする。また、ネーミングライツを導入することにより財源が確保され、県内スポーツ振興に寄与する事業や老朽化する施設の維持管理補修費に充当する。												
[事業内容] (1) 広告事業 県営体育館メインアリーナ内に企業広告を掲出し歳入を確保する。 (2) ネーミングライツ事業 県営体育館および県営野球場においてネーミングライツにより歳入を確保する。												
[受益者] 広告掲出・ネーミングライツ導入企業等						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	都道府県営スポーツ施設における導入状況 ・ 広告掲出導入済 22 ・ ネーミングライツ導入済 35					

福井運動公園「稼げるスポーツ施設」魅力アップ事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	912				使用料 諸収入 4,920	△ 4,008	広告収入、ネーミングライツ					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移							912					
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	ネーミングライツの歳入額 (目標) 実績						(3,025)	(3,025)		単位：千円 5月から契約開始を想定。(予算額×11ヶ月)		
活動指標	県営体育館メインアリーナ内の広告掲出数 (目標) 実績						(5)	(5)		県営体育館メインアリーナに最大10枠掲出枠を設定予定。初年度はうち半分の5枠に応募が来ることを目標。		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価						実績を踏まえた令和6年度の変更点			事業評価			
									<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

少年運動公園「子どもの遊び場」魅力アップ事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課		課長名	児玉 晶香
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	実行予算			経過年数								
補助率	—			1 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
少年運動公園屋内休憩所の利用者が減少し活用が十分なされていない						屋内休憩所年間利用者数 約6,000人						
[事業目的] 少年運動公園屋内休憩所内に子ども向け遊具等を整備し全天候型の子どもの遊び場空間を創出する。また、屋外スペースを有効活用し、新たな遊具を新設することにより子どもの遊びの選択肢を広げ、子どもやその親の健康づくり・体力づくりに寄与する。												
[事業内容] ①屋内遊具の新設 少年運動公園内休憩所を雨や雪の日でも楽しめる全天候型の子どもの遊び場空間とするため、子ども向けの遊具等を整備する。 ②屋外遊具の増設 遊びを通じた子どもの健全な成長・発育に繋げるため、少年運動公園の屋外スペースを最大限活用して、子どもの遊びの選択肢を広げ、新たな遊びの要素が加わる子ども向けの大人気遊具を設置する。												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

少年運動公園「子どもの遊び場」魅力アップ事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香					
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度		
事業実施方法	実行予算					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額					0											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移					56,685	0										
2月現計予算額の推移					56,685											
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	屋内休憩所利用者数 (目標) 実績				(10,000) 30,112				当事業の影響による屋内休憩所利用者数(累計)の伸び							
活動指標	少年運動公園設置遊具数 (目標) 実績				(16) 16				子どもの健全な発達に繋がる子ども向け遊具の設置数							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価								
<ul style="list-style-type: none"> ・少年運動公園内休憩所に子ども向けの遊具等を整備 (R6.1月) ・少年運動公園の屋外スペースにふわふわドームを整備 (R6.3月) ・R5で事業完了 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	■ 完了		56,686				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

県営体育館利活用交流推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	実行予算											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等	[福井県スポーツ推進計画]						
[解決すべき問題・課題] 体育館内の残響や反響が大きいため、プロスポーツイベントには不向きであり、利用者が聞きづらい状況にある。また、Wi-Fiが設置されていないため、大会主催者および利用者ともに不便な状況にある。						[問題・課題を表す客観的データ] 天井と観客席上にスピーカーが設置されており、両スピーカーからの音が同等の音量で遅れて聞こえている(80dB・100ms遅れ)						
[事業目的] 福井県営体育館の機能強化を図ることにより施設の付加価値を高め、多様な用途での施設利用を促進する。												
[事業内容] 音響設備の充実やWi-Fi設備の導入により利用者の利便性を向上する。 ①音響設備の改修 スピーカーの向きを変更して音響調整を図り、サブウーファー(低音再生スピーカー)を設置して明瞭性を高める。 ②・Wi-Fi設備の設置 メインアリーナやサブアリーナなど全館にWi-Fi設備を設置し、利便性の向上やeスポーツ大会の開催を目指す。												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

県営体育館利活用交流推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香							
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度						
事業実施方法	実行予算																	
補助率	—																	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等												
予算額					0													
[予算額の推移等] (単位：千円)																		
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由											
当初予算額の推移					43,545	0												
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移					43,545													
決 算 額 の 推 移																		
前年度までの 主な増減理由																		
[成果指標等の推移]																		
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	(目標) 実績								定量的に検証できるものがなく設定が困難									
活動指標	(目標) 実績								定量的に検証できるものがなく設定が困難									
[事業の評価]																		
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価										
・ 県営体育館音響設備を改修、Wi-Fi設備を設置 (R6. 3月) ・ R5で事業完了								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額							
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	■ 完了		43,545						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	□ その他								

スポーツ大会開催費補助金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課		課長名	児玉 晶香
事業主体	競技団体等				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	年度
事業実施方法	補助									経過年数		
補助率	定額									32 年		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
スポーツを「みる」「する」「ささえる」機会の充実						スポーツイベントの観客数減少 アスリートゲームズ 2022年観客数 1,200人 2021年観客数 1,600人 2020年 2,700人						
[事業目的]												
県内で開催される各種大会に補助し、県民がスポーツに興味・関心を持つ機会を充実し、地域のにぎわい、スポーツの振興を図る												
[事業内容]												
各種競技団体が行う大会開催に対して補助を行う。												
補助条件						補助金額のルール						
(1) 対象となる大会 国際大会、全国大会、ブロック(中部、東海北陸、中日本、北信越)大会						(1) 全国大会 300千円 (2) ブロック大会 100千円 (3) 国際大会、その他お成りを伴う大会 県内開催前例、先催県等を参考に決定 (4) 本県発祥のスポーツ大会 本県での普及度、知名度、貢献度を参考に決定 本県発祥の大会は100千円上乘せする (5) 大規模イベント・大会 3,000千円						
(2) 大会の内容 ①競技の普及振興、競技力向上を図ることを目的としたもの ②本県発祥など、生涯スポーツの振興に貢献するもの ③県のイメージアップ、PRにつながるもの												
(3) 競技スポーツ、生涯スポーツを問わず、実施主体(補助事業者)が (公財)福井県スポーツ協会に加盟していること												
[受益者] 市町地域住民、県スポーツ協会に加盟する競技団体とその加入者						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 スポーツイベント開催支援事業 (役割分担) 当該事業は原則、単年度限りの補助であるが、スポーツイベント開催支援事業は、新規性・継続性がある大規模イベントが対象となっており、入場料等による自立化を促すため、開催初期の支援を複数年行うもの				
市町との連携状況						他県の状況						

スポーツ大会開催費補助金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香					
事業主体	競技団体等				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業開始年度	H5 年度 経過年数 32 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	定額															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	700			繰入金 700	0	スポーツふくい基金繰入金										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		1,300	2,800	3,500	1,300	700	補助大会数・規模の変動による減									
2月現計予算額の推移		300	2,700	3,500	1,300											
決算額の推移		300	1,600	3,430												
前年度までの主な増減理由		補助対象大会数や規模の変動に伴う増														
[成果指標等の推移]																
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標) 実績								定量的に検証できるものがなく設定が困難							
活動指標	補助件数・交付件数 (目標) 実績	(5) 4	(4) 3	(4) 4	(4) 4	(3)										
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価								
・前年度の実績 日本スポーツマスターズ2023福井大会の記念事業として全国規模の2大会等への支援を実施。				・令和6年度は3大会への補助を予定。補助件数と大会規模の変動により、予算額を縮減				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	600					
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

スポーツまちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等	[福井県スポーツ推進計画]						
[解決すべき問題・課題] 福井国体やオリパラの開催により醸成された各市町のスポーツに対する機運の盛り上がりを活かし、新幹線開業に向けて、スポーツによるまちづくりを進めていく絶好の機会を逃さぬよう、市町事業に財源的な支援が必要						[問題・課題を表す客観的データ] R5年度開催大規模全国大会・イベント等(選手・観客1,000人以上)21件(見込含)						
[事業目的] 全国大会や世界大会の開催、代表チームのキャンプ誘致等の効果を、地域の特色としてまちづくりにつなげるため、新たに推進プランを策定し、プランに基づく事業を実施する市町をモデル地域として集中的・継続的に支援する。												
[事業内容] (1) 推進プラン策定 大規模大会等を実施後、その効果を継続するため、指導者の育成や競技人口の増加にかかる取組、交流人口の増加につながる事業、まちなかの景観整備など、課題解決や地域の特色づくりに資する事業を実施する「スポーツまちづくり推進プラン」を策定する。 ・推進計画には以下の3つの分野の実現に向けた事業を記載 ①交流人口増加…大規模大会の開催、独自大会の創設などによる交流人口の増加 ②裾野拡大…指導者・選手の育成、体験教室開催、地元住民との交流事業 など ③機運醸成…イベント開催、活動拠点の整備、関連グッズ開発など ・県が市町から募集し、一年度につき2市町のプランを認定 (2) 補助対象者 市町(補助対象者が競技団体等へ補助を行う事業も対象とする。) (3) 補助対象競技 全市町・全種目(新たなお家芸育成支援事業との重複事業は除く。) (4) 補助率 1/2 (5) 補助限度額 1つの計画あたり最長3か年度まで(計画認定年度を含む)合計15,000千円まで(ただし、一年度あたりの限度額は5,000千円まで)												
[受益者] 各市町						[想定される受益者数] 約5.7万人(あわら市、大野市)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担			■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)			
市町との連携状況	市町が主体となって、3か年の推進プランを作成し、県はプラン記載の事業について、重点的に支援する。					他県の状況						

スポーツまちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,930				1,930							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		10,000	12,938	15,940	15,826	1,930	越前市、坂井市、美浜町、高浜町の事業期間が終了し、令和5年度の支援対象が2市町の支援となるため					
2月現計予算額の推移		111	9,086	12,988	14,709							
決算額の推移		110	8,601	11,025								
前年度までの 主な増減理由	越前市の事業期間が終了し、令和5年度の支援対象は5市町の支援となったが、コロナ禍でのイベント開催のノウハウも蓄積され、積極的なイベント開催へ方向性がシフトしてきたため令和5年度は予算が増加した。											
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								各市町によって目標が異なるため設定が困難			
活動指標	新規プラン認定市町数 (目標) 実績	(2) 1	(2) 3	(2) 2					年に2市町ずつ新規プランを認定 (3年間で計6市町)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
新規プラン認定市町数 R2：1件 (コロナ禍の影響により越前市のみ) R3：4件 (越前市、坂井市、美浜町、高浜町) R4：6件 (越前市、坂井市、美浜町、高浜町、あわら市、大野市)				プラン認定事業支援を継続して実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	13,896	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

スポーツイベント開催支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香																																		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度																																	
事業実施方法	補助																																												
補助率	1/4~10/10																																												
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等	[福井県スポーツ推進計画]																																							
[解決すべき問題・課題] スポーツを通じた地域活性化、交流人口の拡大						[問題・課題を表す客観的データ] スポーツイベントの観客数減少 アスリートゲームズ 2022年観客数 1,200人 2021年観客数 1,600人 2020年 2,700人																																							
[事業目的] 県内外の人が、スポーツを「する」「みる」機会を創出することにより、交流人口の増加を図る。																																													
[事業内容] 全国規模のスポーツ大会やスポーツイベントの開催を支援することにより、県民がトップレベルのスポーツに触れ、楽しみ合える機会を創出し、交流人口の拡大を図る。																																													
(事業内容) 競技団体等が実施するスポーツイベント開催経費を支援 (イベントの規模に応じて支援) イベント企画・調査、誘致活動経緯を支援 (補助率) スポーツイベント支援枠：県1/2~1/4 (右図のとおり) ※「おもてなし」支援：10/10 ふるさと納税活用支援枠：10/10 街なか設置イベント枠：県10/10 (補助上限額) スポーツイベント支援枠：150千円~3,000千円 (最大3年間) ※「おもてなし」支援：50千円 ふるさと納税活用支援枠：寄付金受入額 街なか設置イベント枠：500千円 (実施主体) 福井県スポーツまちづくり推進機構加盟団体、競技団体など						「スポーツ支援枠」の補助メニュー <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">イベント規模</th> <th rowspan="2">福井県スポーツまちづくり推進機構 加盟団体が主催するイベント</th> <th rowspan="2">「ふくいの魅力アップ」 ※おもてなしイベント</th> <th colspan="3">補助率</th> </tr> <tr> <th>1年目</th> <th>2年目</th> <th>3年目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">県外参加者数 (選手+役員等)</td> <td>50~149人</td> <td>15万円</td> <td rowspan="6">5万円</td> <td rowspan="6">1/2</td> <td rowspan="6">1/3</td> <td rowspan="6">1/4</td> </tr> <tr> <td>150~299人</td> <td>30万円</td> </tr> <tr> <td>300~499人</td> <td>45万円</td> </tr> <tr> <td>500~699人</td> <td>75万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">+ 県内外のべ観客数</td> <td>700~999人</td> <td>105万円</td> </tr> <tr> <td>1,000~1,499人</td> <td>150万円</td> </tr> <tr> <td>1,500~1,999人</td> <td>225万円</td> </tr> <tr> <td>2,000人~</td> <td>300万円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						イベント規模	福井県スポーツまちづくり推進機構 加盟団体が主催するイベント	「ふくいの魅力アップ」 ※おもてなしイベント	補助率			1年目	2年目	3年目	県外参加者数 (選手+役員等)	50~149人	15万円	5万円	1/2	1/3	1/4	150~299人	30万円	300~499人	45万円	500~699人	75万円	+ 県内外のべ観客数	700~999人	105万円	1,000~1,499人	150万円	1,500~1,999人	225万円	2,000人~	300万円			
イベント規模	福井県スポーツまちづくり推進機構 加盟団体が主催するイベント	「ふくいの魅力アップ」 ※おもてなしイベント	補助率																																										
			1年目	2年目	3年目																																								
県外参加者数 (選手+役員等)	50~149人	15万円	5万円	1/2	1/3	1/4																																							
	150~299人	30万円																																											
	300~499人	45万円																																											
	500~699人	75万円																																											
+ 県内外のべ観客数	700~999人	105万円																																											
	1,000~1,499人	150万円																																											
	1,500~1,999人	225万円																																											
2,000人~	300万円																																												
[受益者] 市町地域住民						[想定される受益者数] 約75万人																																							
前事業の有無・実績						関連事業の有無・役割分担																																							
<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)						<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)																																							
市町との連携状況						他県の状況																																							
福井県スポーツまちづくり推進機構における情報交流会内で、市町担当者が参加し、事業に関する情報提供や関係団体への周知を実施						佐賀県 補助率1/2 補助上限 国際大会 5,000千円 (3年間 計15,000千円) 国内大会 2,500千円 (3年間 計 7,500千円)																																							

スポーツイベント開催支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/4~10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	24,150	9,075		寄附金 6,000	9,075	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） ふるさと納税						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	11,358	12,558	16,958	15,550	24,150	ふるさと納税等の活用支援枠の創設による増						
2月現計予算額の推移	5,012	7,813	10,968	13,560								
決算額の推移	4,252	7,019	9,740									
前年度までの 主な増減理由	イベント規模に応じた補助に伴う減											
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	スポーツイベント来場者数 (目標) (10,700) 実績 2,700	(12,700) 4,000	(12,700) 6,200	(12,700) 11,363	(12,700)	(12,700)	(15,000)	イベント来場者数の合計				
活動指標	補助事業採択件数 (目標) (2) 実績 1	(3) 2	(6) 4	(6) 6	(6)	(7)	(8)	補助事業の新規採択件数				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・事業による要因 イベント支援制度について周知不足のため、申請するためのハードルが高い。 ・外的要因 夏期のイベント開催が多く、酷暑により想定していた参加者・観客が来場せず、目標未達成となった。 				<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊を活用して、誘致活動強化や新たなイベント開催を応援するスポーツコミッション組織の強化を行う。（スポーツコミッション事務局運営） ・スポーツに関心がある層だけでなく、文化などにも関心がある層がスポーツイベントに来場してもらえるように、「福井ならではのおもてなし」への追加支援し、イベントの多角化を応援 ・ふるさと納税を活用した支援制度を設け、より地域に定着していくイベントへ支援 				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

日本スポーツマスターズ開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香
事業主体		日本スポーツマスターズ2023福井大会実行委員会			事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R5 年度
事業実施方法	負担金										
補助率	-										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画、北陸新幹線開業プラン]				
[解決すべき問題・課題] 県内外から人を呼び込めるスポーツイベントの誘致						[問題・課題を表す客観的データ] 新幹線開業に向け、県を対外的にPRできる大規模イベントが2023年には予定されていなかった。 (R3:東京オリパラ聖火リレー、R4年:ワールドマスターズゲームズ2021[延期]、R5年:なし) 大会関係者を含め、県内外から約17,000人の参加が見込まれる大会で、県のPRの絶好の機会。					
[事業目的] 令和5年9月の本大会に向けて、日本スポーツマスターズ2023福井大会実行委員会を開催するとともに、開会式等の式典や競技会の運営、来県者へのおもてなし、広報活動等の取組みを推進する。											
[事業内容] 日本スポーツマスターズ2023福井大会実行委員会への負担金 (1) 実行委員会運営費 1,075千円 実行委員会、企画運営委員会等の開催 (2) 広報活動費 24,828千円 大会に対する県民の関心を高め、大会成功に向けた機運醸成を図るため、新聞・テレビ広告、ポスターおよびリーフレット等を活用した大会広報を行う。 (3) 競技会運営費 23,481千円 スタッフ着用品作成およびボランティア研修会実施、市町・競技団体への補助等 (4) 開会式運営費 8,593千円 本大会のメインイベントである開会式において、本県の伝統芸能や地場産の食材により参加者のおもてなしを行う。 (5) 参加交流促進費 3,804千円 競技会場において、県外からの参加選手や韓国選手団に心のこもったおもてなしを行う。 (6) お成り関連経費 8,119千円 高円宮妃殿下のお成りに関する経費											
[受益者] スポーツマスターズ開催予定競技団体(13種目)、市町地域住民等						[想定される受益者数] 約17,000人(大会参加者および関係者)					
前事業の有無・実績		■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)			
市町との連携状況		・競技会場の確保、会場使用料の減免 ・競技会場におけるおもてなし (おもてなしコーナーの設置、地元物産品の出店等) ・ボランティアの確保(駐車場整理等)				他県の状況		直近の開催県 2019年 岐阜県 2020年 愛媛県(新型コロナウイルスにより中止) 2021年 岡山県(新型コロナウイルスにより中止) 2022年 岩手県			

日本スポーツマスターズ開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香		
事業主体	日本スポーツマスターズ2023福井大会実行委員会				事務区分	■ 自治事務		事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	R3 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	負担金					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
補助率	-								<input checked="" type="checkbox"/> その他		3 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額							0						
[予算額の推移等]												(単位：千円)	
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			721	5,892	69,900	0							
2月現計予算額の推移			159	5,892	69,900								
決算額の推移			0	5,872									
前年度までの主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	本大会参加者数 (目標) 実績				(8,000) 7,600				本大会(令和5年度)の参加者(選手)目標人数				
活動指標	機運醸成イベント参加者数 (目標) 実績			(300) 300	(500) 1,300				1年前イベント(令和4年度)・100日前カウントダウンイベント(令和5年度)の参加者数				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
・R5事業完了 ・大会参加者数は目標未達成ながらも、前年の岩手大会から増加(岩手大会参加者数:約6,500人)。また、機運醸成イベントの参加者数は目標値を上回った。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	69,900		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

FUKUIRAYS育成・全国魅力発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香		
事業主体	ふくい県民応援チーム					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託、補助												
補助率	1/2～10/10												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]					関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] スポーツ観戦・応援文化の醸成						[問題・課題を表す客観的データ] チームの平均観客数は、コロナ対策規制緩和後も、コロナ禍前の水準に戻っていない 福井ユナイテッドFC: 642人(2019年)→1,120人(2020年)→727人(2021年)→829人(2022年)→969人(2023年) 福井丸岡RUCK :1,376人(2019年)→661人(2020年)→887人(2021年)→783人(2022年)→585人(2023年)							
[事業目的] ふくい県民応援チーム「FUKUIRAYS」の周知、ファンの増加および「FUKUIRAYS」を通じた福井の魅力発信													
[事業内容] ふくい県民応援チーム「FUKUIRAYS」の活躍の場をより広げ、県民に愛されるチーム作りを推進 (1) 県民チームの魅力発信 ▶ チームの試合内容や結果、次の試合予定等についてテレビ・ラジオを通じて情報発信 ▶ 駅や公共施設等におけるポスター掲示 (2) 地域連携支援 ▶ FUKUIRAYSの選手等を派遣し、県民が直接チームと触れ合う機会を創出 (3) スポーツ応援機運醸成 ▶ 嶺北嶺南のスポーツ交流を拡大するため、嶺南での試合・イベント開催を補助 (4) 全国魅力発信 ▶ 県外の試合開催に伴う広報(チラシ等)やチームのSNSを活用した観光地PR (5) FUKUIRAYSふるさと納税育成支援 ▶ ふるさと納税を活用して県民が試合会場に集うチームに押し上げるための強化、育成・広報経費を支援													
[受益者] 市町地域住民、スポーツチーム						[想定される受益者数] 約75万人							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町の公民館、イベント等へFUKUIRAYSを紹介					他県の状況		石川県：県内トップスポーツチームとの包括連携に関する協定 富山県：プロスポーツ支援事業					

FUKUIRAYS育成・全国魅力発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香			
事業主体	ふくい県民応援チーム				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託、補助													
補助率	1/2～10/10													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	308,845			寄附金 300,000	8,845		企業版ふるさと納税 250,000千円 ふるさと納税(個人) 50,000千円							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		9,563	10,917	8,417	14,447	308,845	<ul style="list-style-type: none"> ・「草の根」支援活動の創出による増額 ・ふるさと納税育成支援事業の創出による増額 							
2月現計予算額の推移		5,145	10,917	8,055	77,940									
決算額の推移		4,247	10,286	7,631										
前年度までの 主な増減理由		スポーツ応援機運醸成の見直しに伴う減												
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	県民チームの入場者数 (ホーム)	(目標) (3,000) 実績 1,880	(3,300) 1,987	(3,500) 2,652	(4,000) 4,356	(4,500)	(4,500)	(10,000)	各チームの平均来場者数の合計(令和6年度に5チームから6チームに増)※R6.2.29現在					
活動指標	イベント等への派遣数	(目標) (60) 実績 145	(60) 260	(72) 396	(72)	(72)	(72)	(72)	(目標)年間12回の派遣/1チーム チームのイベントへの派遣や地域貢献活動を含む※R6.2.29現在					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・各チームのホームゲーム平均来場者数の合計：4,356名 ・チームの選手等の派遣回数：396回 				<ul style="list-style-type: none"> ・県民応援チーム「FUKUIRAYS」の周知・PRを継続して実施 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

スポーツ情報ポータルサイト保守事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R7 年度	
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等	[福井県スポーツ推進計画、北陸新幹線開業プラン]					
[解決すべき問題・課題] スポーツ情報ポータルサイト「F. sports!」の安定的な運用						[問題・課題を表す客観的データ] スポーツイベント・大会情報を中心に、県、市町、団体が各々情報発信しており、県民にとって情報にアクセスしにくい状況となっていた。情報を一つに集約・発信することで県民のアクセス向上を図る。					
[事業目的] 県内のスポーツ情報をまとめたポータルサイト「F. sports!」の安定的な運用を図る											
[事業内容] 以下のポータルサイトの保守委託（サーバ利用料、オンサイト保守）											
			【コンテンツ】 ①お知らせ情報 …県からのお知らせ情報 ②ふくい県民応援チーム …県民チームの紹介ページ ③はぴりゅうスポマガ …スポーツコラム ④スポーツイベント …県内のイベント情報の検索、閲覧 ⑤スポーツ施設 …県内の大会開催地、合宿地を検索、閲覧 ⑥ボランティア募集 …県内のボランティア募集情報の検索、閲覧、メール会員登録 ⑦イベント支援情報 …イベント開催補助金等の情報 ⑧福井県スポーツまちづくり推進機構 …推進機構の紹介 ⑨競技力向上 …県内企業に就職しているトップアスリートの紹介								
[受益者] 県民、県外観光客						[想定される受益者数] 500~800view/日					
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			
市町との連携状況		市町のスポーツ施設情報、スポーツ大会・合宿支援情報などを提供してもらい、ポータルサイトに掲載				他県の状況		愛知県、埼玉県、滋賀県などがスポーツ情報ポータルサイトを設置			

スポーツ情報ポータルサイト保守事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,281				1,281							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	6,614	1,281	1,281	1,281	1,281							
2月現計予算額の推移	6,614	1,281	1,281	1,281								
決算額の推移	6,499	1,281	1,281									
前年度までの 主な増減理由	R2年度にポータルサイトを構築し、令和3年度以降は保守委託（サーバー利用料、オンサイト保守等）による減											
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	全国大会・スポーツイベント（1000人以上）の参加・観戦者数	(16,300)	(16,500)	(16,500)	(16,500)	(16,500)	(16,500)	(64,200)	福井県スポーツまちづくり推進機構加盟団体が関連する全国規模の大会（R5:19件）			
	(目標)	5,200	13,700	17,700	75,400							
活動指標	ポータルサイト延べ閲覧数	(36,000)	(91,250)	(91,250)	(91,250)	(91,250)	(91,250)	(127,750)	2年度は6か月分、3年度以降は年間分			
	(目標)	20,400	180,862	145,905								
	(実績)											
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> 全国大会・スポーツイベントの参加・観戦者数の目標を達成（観戦者数 75,400人） 日本スポーツマスターズ2023特設ページを設け、ポータルサイト閲覧数の目標を大幅に上回って達成（R6.1時点閲覧回数424,752回） 				<ul style="list-style-type: none"> 長期継続契約により継続して実施 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

スポーツコミッション事務局運営事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等	[福井県スポーツ推進計画]						
[解決すべき問題・課題] 市町、経済団体、観光団体、スポーツ団体、報道機関などの情報共有の場が少 ない 県内外の推進機構の認知度を向上						[問題・課題を表す客観的データ] 情報共有が十分図れていない。 (R5年度は10月に1回実施。参加者対面・オンライン 合計60名)						
[事業目的] 情報共有の場を持ち、一体的にスポーツを通じた地域活性化を進める 県内外の推進機構(スポーツコミッション)の認知度を向上させ、大会・イベント開催等で頼られる機構を目指す												
[事業内容] (1) 情報交流会の開催・人材育成セミナーの開催 情報交流会の開催 : ①開催回数 年2回(10月および3月に実施) ②内容: 事業結果・事業計画の報告、優良事例の発表、会員相互の交流 等 人材育成セミナーの開催: ①開催回数 年6回(情報交流会の実施に合わせて開催) ②講師(例): 全国的な先進事例で中心となって活躍している団体(金沢文化スポーツコミッション 等) (2) 地域おこし協力隊によるスポーツコミッションの拡大事業 ・誘致活動や県内競技団等との調整を専門的に行う職員を地域おこし協力隊に担ってもらい、コミッションによる伴走支援を充実させる (3) スポーツイベント誘致・開催支援促進事業 ・誘致にかかる県内体育施設等のパンフレット等を作成し、誘致活動を促進 (4) スポーツ展示会出展 ・県外スポーツ団体等へコミッションを印象づけるとともに、加盟団体が県外団体とふれあう機会を創出 (5) JSTA(日本スポーツツーリズム機構)との連携 ・JSTA会員になることで、情報交流・発信の場の創出や、スポーツコミッションのヨコのつながりを強化												
[受益者] 福井県スポーツまちづくり推進機構加盟団体						[想定される受益者数] 85団体(R5.10月末現在)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町とスポーツコミッションを構成					他県の状況	県主体のスポーツコミッションは全国に14団体(R5.10月末現在)					

スポーツコミッション事務局運営事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	7,079	2,587			4,492	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 598千円 地域SC経営多角化等支援事業 1,989千円 特別交付税 3,894千円						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		364	365	273	273	7,079	スポーツコミッションの機能強化に関する増額					
2月現計予算額の推移		364	365	273	273							
決算額の推移		325	123	155								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	全国大会・スポーツイベント（1000人以上）の参加・観戦者数 (目標)	(16,300)	(16,500)	(16,500)	(16,500)	(16,500)	(16,500)	(64,200)	福井県スポーツまちづくり推進機構加盟団体が関連する全国規模の大会（R5:19件）			
	実績	5,200	13,700	17,700	75,400							
活動指標	情報交流会開催 (目標)	(2)	(2)	(2)	(2)				情報交流会の年2回開催			
	実績	1	1	2	2							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・情報交換会を開催（R5.10.20、R6.3.18） ・日本スポーツマスターズ2023福井大会や日本オープン女子ゴルフ選手権など、全国規模の大会が開催され、成果指標を達成できた。				コミッションの機能強化のため、 ①外部講師の招聘費の増額 ②地域おこし協力隊の採用や、スポーツ展示会への出展等で誘致活動強化 ③JSTA（スポーツツーリズム推進機構）加盟による全国への広報強化 ④合宿支援やeスポーツイベント開催等、交流人口拡大に向けた事業創出 ⑤スポーツイベント制度の充実化				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

ワールドマスターズゲームズ2027関西開催準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県実行委員会、関西組織委員会				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] コロナ禍の影響により組織委員会は大会をR9年5月に再延期した。本県としても再延期後の大会開催に向け実行委員会を継続して運営していく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 再延期後の会期 (R9年5月開催) 決定に影響した国際競技大会 アジアパシフィックマスターズ (R5年5月 韓国)、ヨーロッパマスターズ (R5年6~7月 フィンランド)、WMG台湾大会 (R7年5月 台湾)						
[事業目的] オリパラ開催を機に高まるスポーツ機運の継承、さらに北陸新幹線開業後のインバウンド拡大や関西との連携強化を図るため、再延期となりR9年5月に開催される「ワールドマスターズゲームズ関西」の公式競技(ライフセービング)を高浜町で開催する。												
[事業内容] (1) 「ワールドマスターズゲームズ2027関西福井県実行委員会」の運営 ・高浜町や競技団体等が参加する県実行委員会の運営を維持し、競技開催に向けた県内の体制を整える (2) 大会開催に向けての準備(関西マスターズスポーツフェスティバルへの負担金) ・大会開催に向けて県内機運醸成、生涯スポーツの裾野を広げるため、大会の認知度向上、PRを継続的に実施												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	県と高浜町とで組織委員会への負担金を共同で負担 (割合 県:高浜町=1:1)					他県の状況	関西を中心として13府県政令市で実行委員会を設立し、開催に向け準備を進めている(福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市)					

ワールドマスターズゲームズ2027関西開催準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県実行委員会、関西組織委員会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	50					50						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		17,585	9,623	86	55	50	<ul style="list-style-type: none"> ・組織委員会への負担金の減（延期に伴う組織体制の縮小に伴い、自治体職員の派遣契約が終了したため） ・県実行委員会事業費の減（令和6年度は実行委員会を継続するための経費のみ） 					
2月現計予算額の推移		14,465	5,611	86	55							
決算額の推移		14,180	5,501	13								
前年度までの主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度は当初予定していた大会開催の前年度であり、参加者獲得のためのPR費用や大会開催準備事業のための市町補助の事業費が増加 ・R3年度は大会開催準備事業についてR2年度事業で執行された部分が大きかったため、全体の事業費が減少 ・R4、5年度は組織委員会への負担金が発生せず、県実行委員会としても事業規模を縮小したため減少 										
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ライフセービング競技大会参加者数	(500)	(500)	—	—	—	—	(500)	高浜町開催ライフセービング競技大会参加者数500人：国内300人、国外200人（目標）※前回オークランド大会425名。再延期に伴いエントリーを一旦リセットする予定。令和9年度に再度設定			
		実績 58	68	—	—							
活動指標	大会広報活動	(23)	(24)	—	—	(5)	(5)	(25)	大会の開催を幅広く周知し、参加者獲得、県内の機運を高める 令和3年度：4回（国内競技会2回、全豪選手権2日間）			
		実績 14	4	—	—							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
大会会期の再延期に伴い、事務局および事業規模を縮小したため、広報活動等は当初から計画していない。				<ul style="list-style-type: none"> ・県内各地での大会周知活動を再開 ・競技実施要項の作成に向けた競技団体および開催市町との調整を実施 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	5	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

eスポーツをフックとした交流促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等	[福井県スポーツ推進計画]						
[解決すべき問題・課題] スポーツを通じた地域活性化、交流人口の拡大						[問題・課題を表す客観的データ] スポーツイベントの観客数減少 アスリートゲームズ 2022年観客数 1,200人 2021年観客数 1,600人 2020年 2,700人						
[事業目的] 県内のeスポーツ普及、またeスポーツを活用した交流の活性化や交流人口の拡大												
[事業内容] 1. eスポーツイベント開催 ①ステージプログラム…eスポーツアンバサダーの設置、トーナメント開催、プロ選手によるパフォーマンス ②体験ブース…eスポーツ体験ブースの設置(ふよふよ、グランツーリスモ、太鼓の達人、フォートナイト等) フィジカルeスポーツ体験ブースの設置(自転車・ボート・クレ射撃等) ふくい県民応援チーム選手とのeスポーツ・リアルスポーツ体験ブース設置												
[受益者] イベント参加者						[想定される受益者数] 約10,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 障がい者eスポーツ普及促進事業 (役割分担) 当該事業はeスポーツを通じた交流人口の拡大を主な目的としており、しあわせ福井スポーツ協会の障がい者eスポーツ普及促進事業は、障がい者がeスポーツを通じて活躍する場の提供や健常者との交流を深める機会を創出し、共生社会の実現を目指すもの。				
市町との連携状況						他県の状況		○東京都「東京eスポーツフェスタ」 ・目的：eスポーツの普及と関連産業振興 ・予算額：約50,000千円 ・参加者数：約8,000人(2日間延べ) ○福岡市「福岡eスポーツフェスタ」 ・目的：eスポーツ産業振興と裾野拡大、新たな産業創出 ・予算額：約47,000千円 ・参加者数：約13,000人(オンライン参加含む)				

eスポーツをフックとした交流促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香						
事業主体		県				事務 区 分	■ 自治事務		事業 区 分	■ 実行予算		事業 開 始 年 度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度		
事業実施方法		委託					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率		—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等											
予算額	5,940	2,970			2,970	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）											
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移						5,940											
2月現計予算額の推移																	
決算額の推移																	
前年度までの 主な増減理由																	
[成果指標等の推移]																	
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	来場者数 (目標) 実績					(1,000)	(1,000)	(2,500)	イベント来場者数								
活動指標	実施数 (目標) 実績					(3)	(3)	(10)	県内eスポーツイベント実施数								
[事業の評価]																	
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点			事業評価									
								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額						
								□ 継続	□ 休止	□ 完了							
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他							

わたしのまちのスポーツ交流推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	競技団体等				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	委託											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
スポーツを通じた地域活性化、交流人口の拡大、スポーツツーリズムの振興						スポーツイベントの観客数減少 アスリートゲームズ 2022年観客数 1,200人 2021年観客数 1,600人 2020年 2,700人						
[事業目的]												
日本代表合宿をきっかけとした県内市町におけるスポーツツーリズムの振興												
[事業内容]												
1 事業概要 福井県スポーツまちづくり推進機構が市町や競技団体等と連携して合宿を誘致												
2 事業内容												
①バドミントン日本代表合宿												
・事業費 6,300千円												
・期 日 9月～11月頃(パリオリンピック後)												
・会 場 ジオアリーナ勝山(勝山市)												
・選手団規模 計50名程度(予定) 【男子】桃田賢斗、奈良岡功大ほか 【女子】山口茜、奥原希望ほか												
②スポーツクライミング日本代表合宿												
・事業費 1,500千円												
・期 日 9月以降(パリオリンピック後)												
・会 場 福井県立アーチェリー・クライミングセンター(福井市)												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		・勝山市 連携内容: 日本バドミントン協会との交渉窓口、会場確保、会場利用料減免、移動用バス借り上げ等 ・福井市 連携内容: 市内小中学校への周知、選手団へのおもてなし等				他県の状況		・大分県(大分県スポーツ合宿誘致推進協議会) 対 象: ナショナルチームやプロチーム、実業団が実施する合宿 助成金: 500万円(ナショナルチーム) 300万円(プロ1部リーグ所属) 150万円(プロ2部リーグ所属) 50万円(プロ3部リーグ所属) 備 考: 助成額のうち、大分県1/2、大分市1/2 毎年開催する場合も補助額の減額なし。				

わたしのまちのスポーツ交流推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	競技団体等				事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度	
事業実施方法	委託											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	7,800	7,800				0 地方スポーツ振興費補助金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						7,800						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	参加者数 (目標) 実績					(2,000)	(2,000)	(6,000)	合宿開催に伴い合宿会場に訪れた選手および観客等の人数			
活動指標	実施件数 (目標) 実績					(2)	(2)	(6)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点			事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

スポーツボランティアバンク事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画、北陸新幹線開業プラン]					
[解決すべき問題・課題] 競技団体、県内プロチーム、市町スポーツイベント、大規模スポーツイベントへ の人材面(ボランティア)のサポート						[問題・課題を表す客観的データ] R3年度開催大規模全国大会・イベント等(選手・観客1,000人以上)7件 R4年度開催大規模全国大会・イベント等(選手・観客1,000人以上)10件 R5年度開催大規模全国大会・イベント等(選手・観客1,000人以上)21件(見込)						
[事業目的] スポーツに特化したボランティア制度を構築することで、大規模大会・イベント開催のより円滑な運営を図ることができる。スポーツボランティアの活動支援を通じて、スポーツを「ささえる」という関わり方の参画を推進し、スポーツボランティア文化のさらなる発展を目指す。												
[事業内容] (1) スポーツに特化したボランティア人材育成セミナーの開催 ○スポーツボランティアを専門にした講習会の開催 ※年1回を想定 (2) ボランティア専用ホームページの開設 ○スポーツ情報ポータルサイトにおいて、ボランティアを一括管理できる機能を拡充 (3) ボランティア派遣に係る事務一式 ○派遣に係るボランティアの保険代を負担												
[受益者] 市町、競技団体、ふくい県民応援チーム						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・市町のスポーツイベントへの人材派遣					他県の状況	福島県：NPO法人 うつくしまスポーツルーターズ 日本スポーツマスターズ2004福島大会を契機に2005年うつくしま広域ス ポーツセンター内に設立された。その後2007年にNPO法人として、福島県 内の様々なスポーツイベントへボランティア派遣を行っている。					

スポーツボランティアバンク事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香					
事業主体		県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R6 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R7 年度	
事業実施方法		直営											経過年数			1 年
補助率		-														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	5,215	2,607			2,608	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）										
[予算額の推移等] (単位：千円)																
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						5,215										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	イベント等への派遣数 (目標) 実績					(800)			うつくしまスポーツルーターズ実績参考							
活動指標	ボランティア登録者数 (目標) 実績					(300)			日本スポーツマスターズ2023福井大会ボランティア数およびふくい桜マラソンボランティア連携							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価							
									<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

競技力向上対策事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県、県スポ協、中体連、高体連 等				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S41 年度 経過年数 59 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算、補助金											
補助率	県10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画、教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 本県からトップアスリートを継続的に輩出するため、福井国体の選手強化の過程で得た有形・無形の「経験、人材、ノウハウ」のレガシーを継承・発展させ、中長期的な視点で選手確保・育成・強化サイクルを形成し、特にジュニア選手の発掘・育成を重点的に進める必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] H30福井国体前 全国大会での上位入賞数：100件未満 国体順位：20位台以下						
[事業目的] 計画的な選手の確保、育成等の競技力向上対策を実施し、国民体育大会をはじめスポーツの全国大会において本県選手が活躍することを通して、県民に夢と感動を与え、本県のスポーツの普及・振興を図る。												
[事業内容] ○選手確保 ・競技体験会の開催やトップアスリートを目指す子どもを対象に育成プログラムを提供 ・県内の強豪高校で競技力向上に励む選手へ下宿費用を支援 ・「スポジョブふくい」を活用し、アスリートの県内就職を支援 等 ○育成・強化 ・中学生の時から県選抜チームを結成し、定期的な練習会や強化遠征・合宿を実施 ・県外遠征やスーパーアドバイザーの配置により「チームふくい」を継続的に強化 ・強豪の県立高校の重点強化により、地域と学校をつなぐ継続的な選手の育成・強化体制を構築 等 ○環境整備 ・強化合宿や練習会、大会等にチーム専属トレーナーやメンタルトレーニングコーチ等のスポーツ医・科学の専門家を派遣 等												
[受益者] 国体の正式競技 (41競技) の選手・指導者						[想定される受益者数] 約80,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	歴代の国体開催県は、開催後も継続して競技力向上事業を実施					

競技力向上対策事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	児玉 晶香	
事業主体	県、県スポ協、中体連、高体連 等				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S41 年度 経過年数 59 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算、補助金											
補助率	県10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源							
予算額	455,066				455,066							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	804,934	674,163	532,276	479,817	455,066	<ul style="list-style-type: none"> ・アスリートがUIターンする企業やクラブチーム等への活動費支援の増 ・ふるさと選手として活躍する選手の活動費支援の増 ・スーパーアドバイザー配置事業の指導者回数の減 ・「新たなお家芸競技」育成支援事業などの事業見直し 						
2月現計予算額の推移	635,158	570,518	506,544	478,817								
決算額の推移	552,648	518,179	492,643									
前年度までの 主な増減理由	選手支援制度の見直しに伴う減											
[成果指標等の推移]												
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	全国大会での上位入賞件数 (目標) (1~3位) 実績	(100) 130	(100) 188	(100) 180	(100) 200	(100)	(100)	スポーツ推進計画、教育振興基本計画の目標				
活動指標	新規選手確保数 (少年・成年) 実績	(50) 52	(50) 50	(50) 50	(50) 46	(44)	(44)					高校生トップアスリート奨励金での有望選手獲得数 「スポジョブふくい」での有力選手獲得数
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・国体10位台を目標に競技力の向上に取り組み、成果目標を達成				・全国大会での上位入賞数は高いレベルで維持できているが、より効果的・効率的な強化対策が実施できるよう活躍が見込まれる競技・種別を重点的に強化				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		